

日本地衣学会 2020 年度 第 1 回評議員会（メール会議）資料

日時：令和 2 年 11 月 3 日（水）～令和 2 年 11 月 17 日（水）

次第

- I. 2019 年度事業報告 . . . 資料 1
- II. 2019 年度決算報告・監査報告 . . . 資料 2
- III. 入・退会状況 . . . 資料 3
- IV. 2020 年度事業計画 . . . 資料 4
- V. 2020 年度予算案 . . . 資料 5
- VI. 審議事項
 - 1. 各委員会等の課題等について（各委員長等）
 - 2. 来年度以降の大会，観察会について
 - 3. 役員等の交代等

VII. その他

I. 2019 年度事業報告

1. 会員数等

(1) 会員数（会計幹事）

① 前年度末（2018 年 12 月 31 日）

177 名（一般 122，学生 12，海外一般 25，海外学生 7，有功 1，団体 2，名誉 8）

② 本年度末（2019 年 12 月 31 日）

178 名（一般 123，学生 12，海外一般 25，海外学生 7，有功 1，団体 2，名誉 8）

③ 年度内の変化（2020 年 8 月 3 日）

178 名（一般 123，学生 12，海外一般 25，海外学生 7，有功 1，団体 2，名誉 8）

2. 主催大会，観察会

(1) 日本地衣学会第 18 回大会（ニュースレター No. 155）

会場：大阪府立大学 I-site なんば（大阪市）

会期：7 月 13 日～14 日

大会委員長：古田 雅一（大阪府立大学）

参加者：33 名（一般会員 22 名，学生会員 6 名，その他 5 名）

講演等：一般講演 13 題，公開シンポジウム「文化財の微生物制御」講演 3 題
（河崎衣美氏，濱田信夫氏，土戸哲明氏）

（懇親会はチャコールグリルパーラーオルケスタで開催され，27 名が参加）

(2) 第 18 回学会主催観察会

場所：湯の丸高原（長野県東御市）

日時：10 月 19 日～20 日

担当：地域活性化委員会関東（綿貫攻）

状況：水害により中止

3. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology（編集委員会）：第 18 巻 1 号（8 月 31 日），2 号（2020 年 3 月 30 日）

(2) 日本地衣学会ニュースレター（ニュースレター編集委員会）：

152 号（2019 年 2 月 14 日），153 号（2 月 27 日），154 号（5 月 22 日），
155 号（9 月 18 日），156 号（12 月 5 日）を発行，
それぞれホームページで公開．

4. 委員会報告（各委員長）

(1) 地域活性化委員会（川又明徳）

1) 第 15 回秋田ワークショップ：秋田県立大学，8 月 8 日～11 日 参加者 8 名

2) 第 42 回青空地衣教室：妙本寺（鎌倉市）〔12 月 1 日（日）〕，

参加者 11 名（ニュースレター158 号）

(2) 学術交流委員会

・自然史学会連合：講演会（10 月 29 日，富山市立自然史博物館），

総会（12 月 21 日，日能研・西日暮里教室 6 階大教室，坂田歩美出席）

分担金 20,000 円は支払い．

・日本分類学会連合（坂田歩美）：第 18 回日本分類学会連合公開シンポジウム「最近話題となった日本からの新種，珍種，新発見」及び総会（1 月 12 日）に出席（坂田歩美，小杉真貴子），
分担金 10,000 円は支払い．

・その他：菌学会については原光二郎氏に対応してもらうこととした．植物学会については引き続き検討する．

その他学会については，日本地衣学会会員の中で各学会への参加者に対応を依頼する．

(3) ホームページ運営委員会（原 光二郎）．海岸生地衣類を中心とした，日本産地衣類の DNA バーコーディングのためのデータベースの作成を進め，公開の準備を進めた．

(4) 国際学会対応委員会

原光二郎氏に対応してもらうこととした．

(5) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト（原田）

・プロジェクト独自の活動無し．

・発酵研究所からの助成を受けて「日本産海岸生地衣類の種多様性解明と同定ツールの開発」（研究代表者：原田）を進め，成果として「日本産海岸生委地衣類図鑑（1）大型地衣類」「同（2）アナイボゴケ科」を公表，他の群については投稿中あるいは検討中．この「図鑑」をまとめるウェブコンテンツの千葉県立中央博物館での公開準備を進めるとともに，DNA バーコーディングのためのデータベースを学会 HP で公開の準備を進めた．

5. 選挙

(1) 会長選挙

1) 会長選挙結果の報告 2019 年 9 月 30 日

8 月末日，推薦締切り．評議員会からの推薦者 原田浩（千葉県博）1 名．

9 月 28 日，信任投票締切り

9 月 29 日，開票作業．投票総数 61 票，信任 61 票，不信任 0 票，無効 0 票．

選挙管理委員会：坂田歩美委員長、木下靖浩委員．立会人：泉宏子氏，東あずさ氏

2) 次期役員の指名 2019 年 9 月 30 日

原田次期会長により、以下の次期役員を指名．庶務幹事 中畠 裕之，会計幹事 川上 寛子，
編集委員長 小峰 正史

(2) 評議員選挙

評議員選挙結果の報告 2019 年 12 月 29 日

国内在住通常会員（次期役員を除く）を対象とし、

11 月 22 日、投票締切り。

11 月 23 日、開票。選挙管理委員会（坂田歩美委員長、木下靖浩委員）による開票作業が、原田 浩会長、泉宏子氏の立ち会いのもと行われた。

得票数の集計が厳正に行われ、得票数の上位 5 名を候補者とし、その内承諾の得られた 4 名が次期評議員に決定。更に新評議員の互選により、最多得票の木下靖浩氏が新議長に決定された後、地区の偏りを是正する目的で追加候補 2 名が指名され、その内本人の承諾を得られた河崎衣美氏が追加評議員に決定した。さらにこの 5 名の新評議員会にて、坂田歩美氏と高取（木下）薫氏の 2 名が新監事に決定した。

投票用紙：34 枚、有効票数：170 票

木下靖浩：24 票

坂田歩美：18 票

坂東誠：15 票

原光二郎：14 票

高取（木下）薫：12 票

小杉真貴子：9 票

安斉唯夫：7 票

竹仲由希子：6 票

綿貫攻：6 票

河崎衣美：5 票

坂井広人：4 票

坪田博美：4 票

宮脇博巳：4 票

（得票数 3 票以下は省略）

新評議員（敬称略）

木下靖浩（議長）

坂田歩美（監事）

原光二郎

高取（木下）薫（監事）

河崎衣美（追加）

Ⅱ. 2019 年度決算報告・監査報告：2019 年度の会計監査により適正かつ正確であることが確認された。

2019 年度収支決算

収入

年会費								¥356,000
内訳	一般会員	82 名	×	¥4,000	=	¥328,000		
	学生会員	5 名	×	¥2,000	=	¥10,000		
	海外会員	4 名	×	¥2,000	=	¥8,000		
	団体会員	1 団体	×	¥10,000	=	¥10,000		
学会誌等収入(バックナンバー、チェックリスト、ページチャージなど)								¥8,000
学術著作権協会								¥29,325
利息								¥3
前年度繰越金								¥896,074
計								¥1,289,402

支出

印刷代								¥399,100
通信費								¥105,107
学生発表賞	B 賞	2 名分	×	¥2,000		¥4,000		¥4,000
事務経費								¥22,857
日本分類学会連合分担金								¥10,000
自然史学会連合分担金								¥20,000
積立金								¥100,000
繰越金								¥628,338
								¥1,289,402
積立金								
積立金								¥100,000
								¥100,000

2019 年 12 月 31 日 会計幹事 川上寛子

会 計 監 査 報 告 書

日 本 地 衣 学 会 2019 年 度 の 会 計 監 査 を し た
と ころ、適 正 か つ 正 確 で あ る こ と を 認 め ま
し た。

2020 年 / 月 24 日

監 事 川 又 明 徳 

2020 年 2 月 3 日

監 事 木 下 薫 

Ⅲ. 入・退会状況

入退会者一覧 2020/8/3 現在

2019 年度入会者

会員番号	氏名	種別	入会日
317	西浦 義道	一般	2019/1/21
318	麥田 黎	一般	2019/5/9
319	谷川 寛典	学生	2019/5/28
320	Seung-Yoon OH	一般	2019/6/25
321	Wooyong KIM	一般	2019/6/25
322	黄田 光博	一般	2019/7/8
323	矢頭 勇	一般	2019/7/13*
324	中村 正樹	一般	2019/7/24

2019 年度退会者

会員番号	氏名	種別	退会日
265	池上 吉宗	一般	2019/1/9
305	鈴木 真裡	一般	2019/8/12

2020 年度入会者

会員番号	氏名	種別	入会日
325	櫻本 史夫	一般	2020/2/2
326	小松 つよし	一般	2020/3/11

2020 年度退会者

会員番号	氏名	種別	退会日
245	松浦 陽次郎	一般	2020/3/31
317	西浦 義道	一般	2020/4/2

IV. 2020 年度事業計画

1. 主催大会, 観察会

(1) 日本地衣学会第 19 回大会

コロナウィルス感染状況を考慮すると、通常の大会は開催が困難。そこで、オンライン大会の検討をしたが、現状では技術的に困難と考えられた。オンデマンドによる開催も検討したが、課題が多いことが判明した。よって、19 回大会は中止とする。

※当初計画。会場：愛媛県総合科学博物館。会期：8 月 29（土）～30（日）。大会準備委員長：川又 明德（地域活性化委員会委員長，中国・四国地域）

(2) 第 19 回学会主催観察会

コロナウィルス感染状況を考慮すると、観察会の開催は困難と考えられるため、中止とする。

※当初計画。場所：湯ノ丸高原他（長野県東御市・群馬県嬬恋村）。開催日： 月 日～ 日。担当：綿貫攻（地域活性化委員会，関東）

2. 総会

大会開催ができないため、何らかの形で総会を開催する必要がある。（会則を確認する必要あり）
→どのように？

3. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology（編集委員会）：

第 19 巻 1 号（11 月予定），2 号（2021 年 2 月予定）

(2) 日本地衣学会ニュースレター（ニュースレター編集委員会）：

ホームページで逐次公開（坂東 誠）。

4. 委員会報告（各委員長）

(1) 地域活性化委員会（川又明德）

- ・第 43 回青空地衣教室の開催は，コロナウィルス感染状況を考慮の上，検討。
- ・第 16 回秋田ワークショップ：秋田県立大学，中止。

(2) 学術交流委員会

- ・自然史学会連合：

分担金 20,000 円は支払い。

- ・日本分類学会連合（坂田歩美）： 1 月，総会とシンポジウム開催。坂田・

小杉真貴子氏（会長代理）が出席予定 分担金 10,000 円は支払う予定。

- ・菌学会（原光二郎）：2020 年 6 月 19 日（金）～21 日（日）に開催が予定されていた日本菌学会第 64 回大会は，コロナウィルス感染状況を考慮の上，中止となった。本学会員を

中心に地衣類に関するシンポジウムが計画されていたが、次大会以降に再計画される可能性あり。

- ・その他：植物学会についての対応は引き続き事務局で検討する。

(3) ホームページ運営委員会（原 光二郎）

(4) 国際学会対応委員会

担当を検討中である。

(5) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト（原田）： 図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして①「海岸生地衣類」を2020年にアップした。既に公開している②「房総の地衣類誌」、③「日光の地衣衣類」とともに活用する形を検討する。「日本産地衣類のDNAバーコーディングのためのデータベース」の学会HP内における試験公開を始めており（①に関連して）、更に整備を進めていく（原）。

5. 学会運営等

(1) 会員数

- ・2019年12月31日：

178名（一般123，学生12，海外一般25，海外学生7，有功1，団体2，名誉8）

- ・2020年9月28日現在：

180名（一般123，学生14，海外一般25，海外学生7，有功1，団体2，名誉8）

(2) ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

6. その他

V. 2020 年度予算案（会計幹事）

2020 年度予算案

収入

年会費							¥600,000
内訳	一般会員	123 名	×	¥4,000	=	¥492,000	
	学生会員	12 名	×	¥2,000	=	¥24,000	
	海外会員	32 名	×	¥2,000	=	¥64,000	
	団体会員	2 団体	×	¥10,000	=	¥20,000	
学会誌等収入（バックナンバー、チェックリスト、ページチャージなど）							¥150,000
学術著作権協会							¥50,000
前年度繰越金							¥628,338
							計 ¥1,428,338

支出

学会誌関係	印刷費等	2 回分	×	¥275,000	¥550,000	¥550,000
通信費						¥40,000
学生発表賞						¥17,000
内訳	学術奨励賞	1 名分	×	¥10,000	¥10,000	
	A 賞	1 名分	×	¥5,000	¥5,000	
	B 賞	1 名分	×	¥2,000	¥2,000	
事務経費						¥5,000
日本分類学会連合分担金						¥10,000
自然史学会連合分担金						¥20,000
積立金						¥100,000
予備費						¥686,338
						¥1,428,338
積立金						
積立金						¥200,000
						¥200,000

2020 年 8 月 3 日 会計幹事 川上寛子

VI. 審議事項

1. 各委員会等の課題等について（各委員長等）

（1）コロナ禍に伴う海外会員への学会誌送付について（庶務幹事、会計幹事）

- ・Lichenology18(2)は、コロナ禍に伴い会員韓国7名への発送ができず、中国5名から返送された。これらについては、Lichenology19(1)と共に発送の予定である。

2. 来年度以降の大会、観察会について

（1）第20回日本地衣学会大会について

通常の形式での開催ができるか不透明であるため、オンライン大会での開催が望ましいのではないかと、その方向で検討を進める。

（2）ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

3. 役員等の交代等

- ・会計幹事、川上寛子（2019～2020）、次期（2021～2022）継続予定

VII. その他